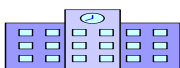


学校だより第6号 平成29年8月29日(火)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



# きざき



— 児童が目を輝かせて、  
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [kizaki-e@saitama-city.ed.jp](mailto:kizaki-e@saitama-city.ed.jp)



さいたま市立木崎小学校

児童数 847名

## 「自主性」「熱意」「学びに向かう力」

校長 豊島 登

暦の上では秋、「処暑」といって厳しい暑さも峠を越え、朝夕は涼風が吹き始める頃です。そんな中、木崎小学校に子どもたちの笑顔と元気な姿が戻ってきました。今学期も、みんなが楽しく充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

8月23日、第99回全国高校野球選手権大会で、花咲徳栄高校が埼玉県勢として初めて優勝したというニュースに心が躍りました。1回戦から決勝まで全6試合、すべて2桁安打。しかも、9点、9点、10点、10点、9点、14点という大量得点を重ねての大躍進でした。順風満帆に見えますが、新チーム始動当初は周囲の期待とは裏腹に、思うような結果が出せず苦しんだそうです。岩井 隆監督は、「指示待ちでは勝てない」ことを実感し、付きっ切りの指導から自主性を育むチーム作りに舵を切ったそうです。その結果、選手が率先して考え実践する集団に生まれ変わったといます。

このことは、ちょうどその前日の8月22日に、さいたま市教育講演会で聴いた話と結び付きました。知能検査の創始者であるアルフレッド・ビネーというフランスの心理学者が、知能に必要な要素を3つ挙げています。1つめは「論理力」です。算数で育てられるのはまさにこの力です。2つめは「言語力」です。話す・聞くだけでなく、思考も言語を通じて行われるので、国語が重要であることは間違いありません。そして、3つめのが「熱意」です。意外に感じる方も多いかもかもしれませんが、どんなにすぐれた能力があっても、それを発揮しようとする強い気持ち＝熱意がなければ何も起こらないということです。100年以上も前から言われている、ペーパーテストでは測ることのできない、この「見えない力」にもっと注目すべきだと感じました。

来年度から実施する新学習指導要領では、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するために、次の3つの柱を掲げています。①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、そして、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養です。ここにも、ビネーの思想が息づいているようです。言葉は違っていますが、自主性、熱意、学びに向かう力は、ほぼ同義と考えます。

きょうから始まる2学期、毎日の授業の中で、さらに運動会や音楽会など大きな行事をとおして、少しでも、この見えない力を見えるように（実感できるように）していきたいと思えます。